

地方創生第2幕「vs東京」&くしま回帰』総合戦略」の概要



燃料電池バスの出発式



8 K遠隔医療実証実験

徳島は宣言する
VS東京

項目

1 「とくしま人口ビジョン（2020年策定版）〈概要〉

2 「vs東京『とくしま回帰』総合戦略～未知の世界への挑戦～」〈概要〉

▶【基本目標1】ひと ～ 「未来を担うひとの流れ」づくり～

▶【基本目標2】しごと ～ 地域を支える「魅力的なしごと」づくり～

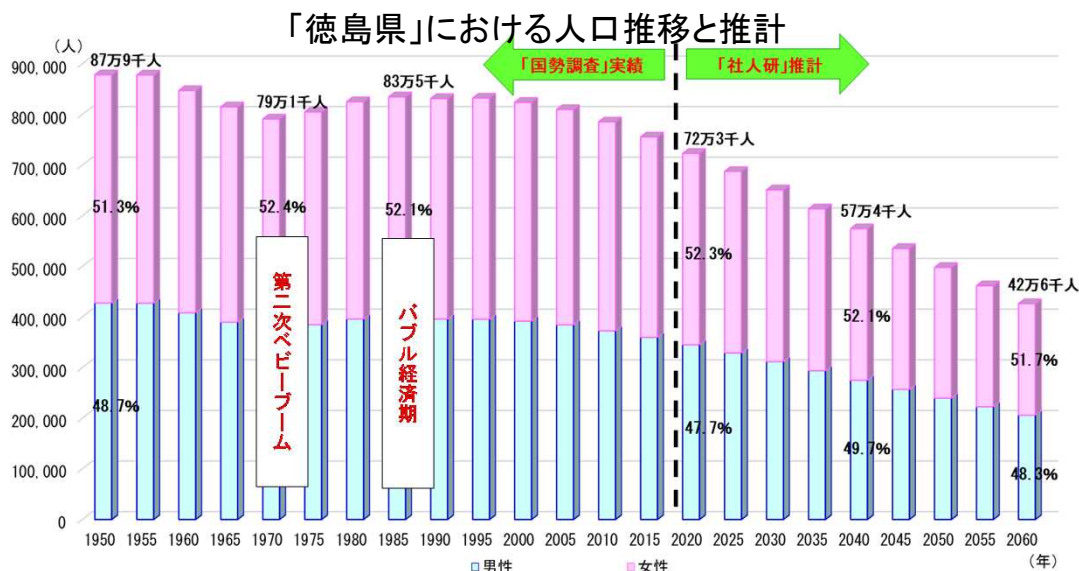
▶【基本目標3】子育て ～ 結婚・出産・子育て「希望がかなう環境」づくり～

▶【基本目標4】まち ～ 安全・安心「持続可能な社会」づくり～

1 とくしま人口ビジョン（2020年策定版）＜概要＞

（1）徳島県における人口の現状

i 人口推計



【国立社会保障・人口問題研究所の推計】

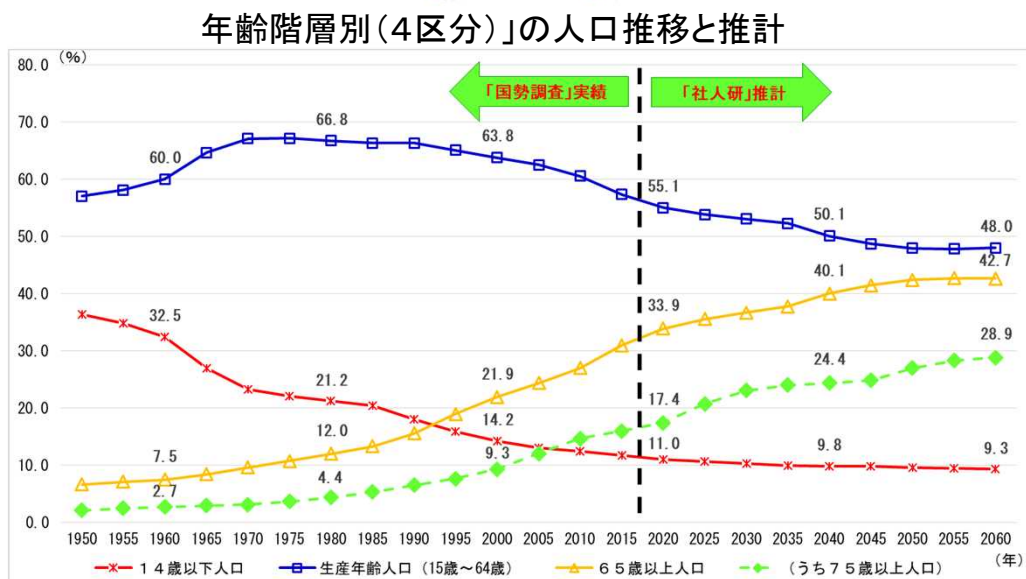
・「総人口」
 : 2025年(令和 7年): 70万人を下回る
 2040年(令和22年): 60万人を下回る
 2050年(令和32年): 50万人を下回る
 2060年(令和42年): **約42万6千人**

・「年少人口(14歳以下)」
 : 2020年(11.0%) ⇒ 2060年(**9.3%**)

・「生産年齢人口(15歳～64歳)」
 : 2020年(55.1%) ⇒ 2060年(**48.0%**)

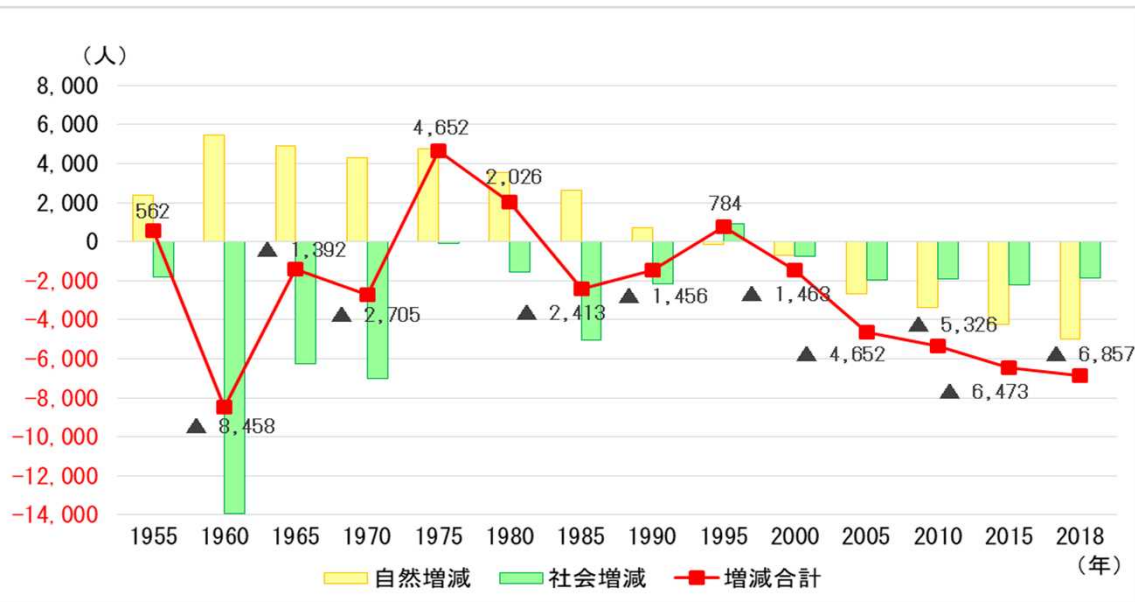
・「65歳以上人口」
 : 2020年(33.9%) ⇒ 2060年(**42.7%**)

〔「うち75歳以上」
 : 2020年(17.4%) ⇒ 2060年(**28.9%**)〕



ii 人口減少の現状

「自然動態」・「社会動態」・「人口減少」の推移



【徳島県「人口移動調査結果報告書」】

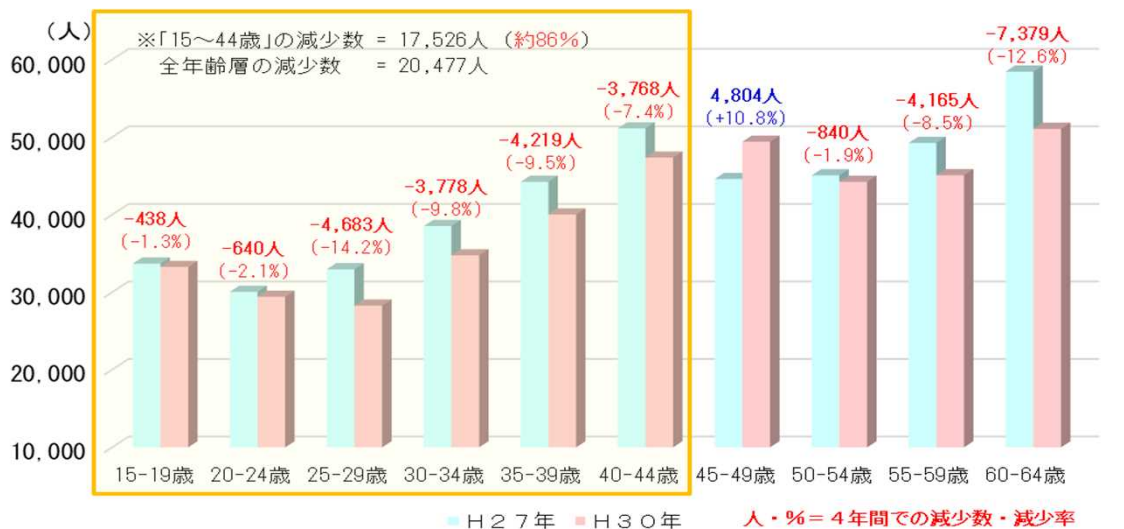
○直近4年間(2015年(H27)～2018年(H30))

平均で**約6,500人の減少**

〔自然動態:約4,700人
社会動態:約1,800人〕

- ・高齢化の進行に伴い「**死亡者数**」が**微増傾向**
- ・**女性の転出超過**が多い傾向(56%)
- ・最も多い「**転出先**」は「**近畿地方**」

年齢階層別「人口減少」の状況



○年齢階層別分析(H27-H30比較)

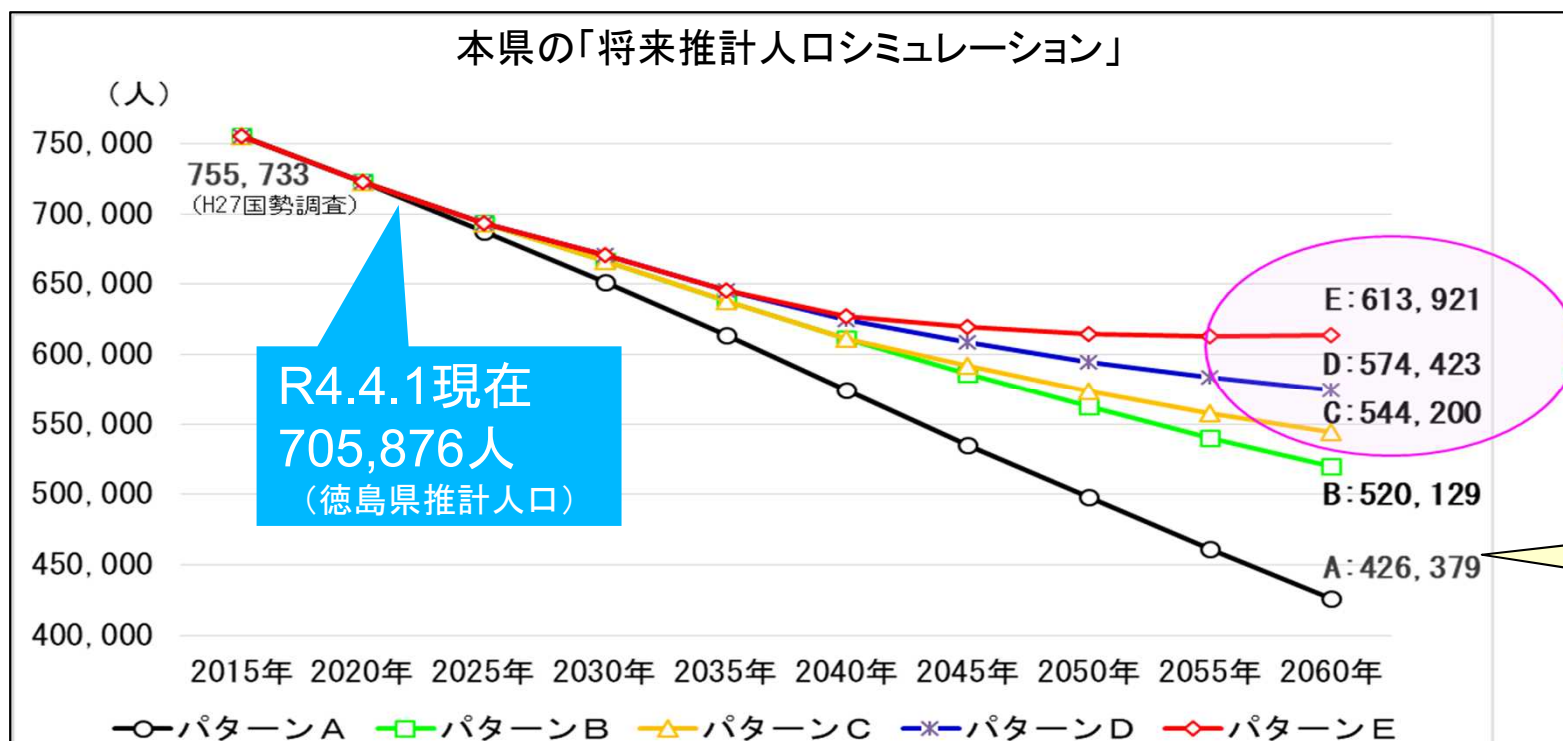
- ・「**15歳～44歳**」人口を捉えると、**減少数全体の約86%**を占めている。
- ・年齢階層別では「**25歳～29歳**」の減少幅が**最も高い**(Δ 14.2%)
- ・生産年齢人口では、「**45歳～49歳**」人口を除く「**全ての年齢階層**」で減少

(2) 人口の将来展望と目指すべき方向性

i 目指すべき「本県の総人口」

～「総人口の目標」～

★2060年に、「55万人～60万人超」の人口水準を確保！



社人研推計

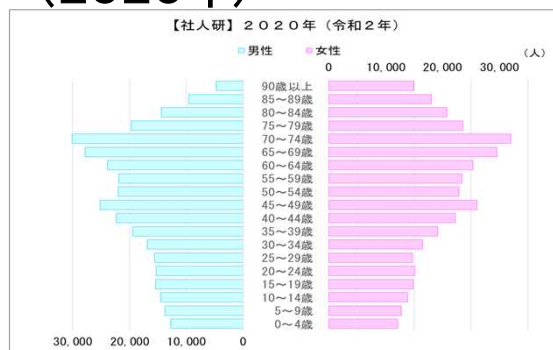
- パターンA :** 国立社会保障・人口問題研究所の推計 (H30年) に準拠
- パターンB :** 合計特殊出生率が上昇 (2025年以降: 1.80、2040年以降: 2.07)
 転入数と転出数が均衡 (2030年以降: 均衡)
- パターンC :** 合計特殊出生率が上昇 (2025年以降: 1.80、2040年以降: 2.07)
 転入数が転出数を上回る (2030年以降: 均衡、2040年以降: 1,000人超過/年)
- パターンD :** 合計特殊出生率が上昇 (2025年以降: 1.80、2030年以降: 2.07)
 転入数が転出数を上回る (2030年以降: 均衡、2035年以降: 1,000人超過/年、2040年以降: 1,500人超過/年)
- パターンE :** 合計特殊出生率が上昇 (2025年以降: 1.80、2030年以降: 2.07)
 転入数が転出数を上回る (2030年以降: 均衡、2035年以降: 1,500人超過/年、2040年以降: 3,000人超過/年)

ii 目指すべき「人口構造」

～「目指すべき方向性」～

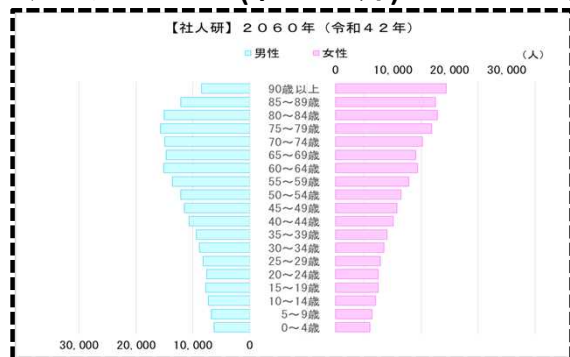
★人口ピラミッドのプロポーションを意識した「持続可能な人口構造」を構築！

(2020年)

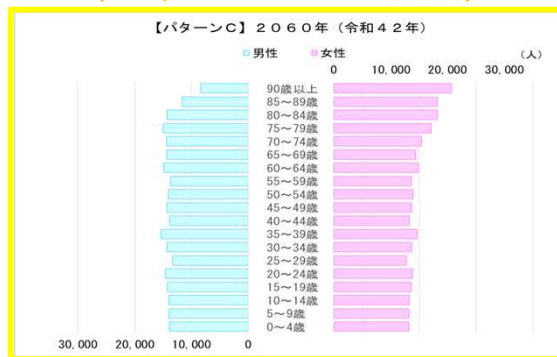


(2060年)

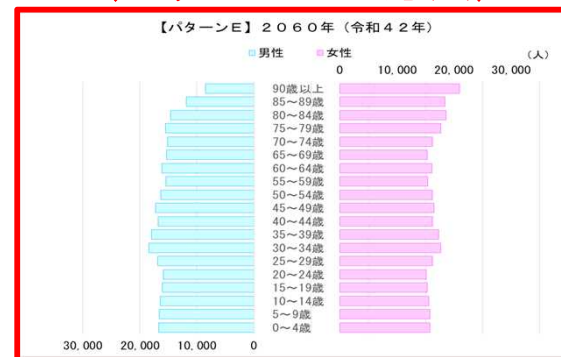
(パターンA(社人研):42万人)



(パターンC:54万人)



(パターンE:61万人)



【3つの目標設定】

- ★「生産年齢人口(15歳～64歳)」の構成比率「50%以上」を確保！
- ★若者を中心に、「15歳～44歳」人口の構成比率「30%以上」を確保！
- ★合計特殊出生率の算定基礎となる「15歳～49歳」女性人口の現状水準「17%台」を確保！

iii 「自然動態」の改善

～「自然動態」の改善に向けた目標～

★2025年（令和7年）に、結婚や出産に関する希望がかなう場合の
「出生率（希望出生率）1.8」を目指す！

※結婚や出産については、個人の考え方や価値観が尊重されることが大前提
であり、この目標は個人に対するものではない。

◆目指すべき方向性◆

○【「結婚～出産～子育て」のあらゆるステージを応援する社会の実現】

⇒ 子育てトータルサポートのさらなる充実

⇒ 高齢者も含め、地域で子育てを支え合うコミュニティの実現

○【徳島発！多様な「働き方改革」の実装】

⇒ 「Society5.0」を実現する未来技術を活用した「長時間労働の是正」や
「ワーク・ライフ・バランス」の確立など、安心して子育てできる環境の整備

○【アクティブシニアをはじめ、全ての人々が健康で活躍できる社会の構築】

⇒ 全国トップクラスの「健康寿命県」の実現

⇒ 高齢者、障がい者、外国人など、多様な人材の活躍

iv 「社会動態」の改善

～「社会動態」の改善に向けた目標～

★2030年（令和12年）までに、
「転入・転出者数の均衡（社会増減ゼロ）」を目指す！

※目標達成を図る上で、5年後の2024年度（令和6年度）実績において、
「転出超過数1,000人」を下回る水準を目指す！

※ 「65歳以上・75歳以上」人口がピークアウトし、5年単位での「人口減少率が5%以上」に拡大する「人口減少加速時代」が到来する2030年（令和12年）までに、「転入転出者数の均衡」を実現し、「持続可能な人口構造」への転換を目指す。

◆目指すべき方向性◆

○【社会減の主要因である若者の「とくしま回帰」加速】

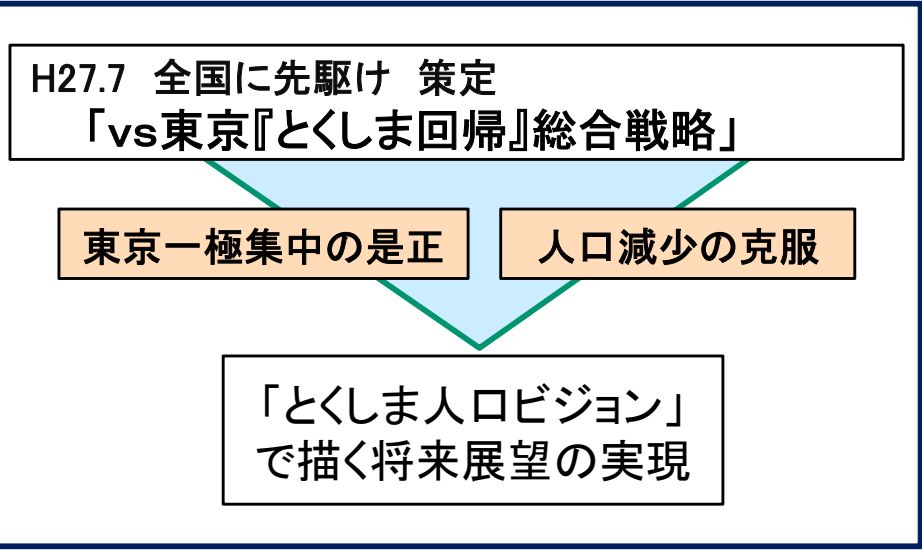
- ⇒ 県内高校、高等教育機関卒業後の「県内定着率」の向上
- ⇒ 県外進学した大学生など「20歳～24歳」の若者への対策強化
- ⇒ 魅力的な就労・生活環境の発信など、女性へのアプローチ「女性目線」の対策強化
- ⇒ 「東京圏」に加え、「大阪圏」への対策強化

(1) 基本姿勢

i 第2期「総合戦略」の位置づけ

「とくしま人口ビジョン」で新たに描いた将来展望の実現に向けた2020年度から5か年(2020年度～2024年度)の人口減少の克服と持続可能な地域づくりのための施策の方向性を位置づける計画

第1期総合戦略(2015 (H27)～2019 (R1))



取組成果と課題を踏まえ

第2期総合戦略(2020 (R2)～2024 (R6))



地方創生の加速

一億総活躍社会の実現

日本創生へ

ii 「横断的・重点的」取組み

New !

グリーン社会の実現とSDGsの取組み推進

「SDGs」を原動力として「地方創生」を推進し、
「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある
地域社会を実現



SDGs17のゴール

デジタル社会の実現

「Society5.0」実現に向けた環境整備を進め、
未来技術を活用した地域課題の解決を強力に推進



Society5.0イメージ

地方創生の基盤をなす人材の育成

「ふるさと教育」等の実施により、地域に「誇りと愛着」を
持つ人材を育成



地方創生人材育成イメージ

若者、女性、大阪圏への「効果的・戦略的」対策強化

「若者」、「女性」に焦点を当てた取組みの強化、「大阪圏」への
アプローチの強化など、ターゲットを明確にした魅力的な情報発信



大阪圏への戦略的情報発信イメージ

(2) 基本目標

4つの基本目標

【基本目標1】

「未来を担うひとの流れ」づくり

目標

- 転入・転出者数 : 2030年均衡へ
(ア)「住みたい・つながりたい」を実現！「とくしま回帰」の推進
(イ)次代の地方創生を担う人材の育成
(ウ)「とくしま回帰」を呼び込む拠点の更なる確保

【基本目標2】

地域を支える「魅力的なしごと」づくり

目標

- 雇用創出数 : 5年間で5,000人
(ア)未来につながる「地域産業」の実装
(イ)世界に誇る「とくしまブランド」の強力展開
(ウ)好機をとらえた観光誘客の更なる推進
(エ)未来を切り拓く「ひと」づくり

【基本目標3】

結婚・出産・子育て「希望がかなう環境」づくり

目標

- 希望出生率 : 1.8 (2025年)
(ア)多様な希望をかなえる「きめ細やか」で「切れ目のない」支援
(イ)多様な希望に寄り添った「子育て環境」の実現
(ウ)きめ細やかに手をさしのべる社会の実現

【基本目標4】

安全・安心「持続可能な社会」づくり

目標

- Society5.0の実装に向けた取組件数 : 5年間で25事例
(ア)DXの推進・「Society5.0」の実装
(イ)グリーン社会の実現・「SDGs徳島モデル」の実装
(ウ)全世代・全員活躍「ダイバーシティとくしま」の実現
(エ)安全・安心を実感！「皆が笑顔で暮らせる」社会づくり
(オ)地方創生の礎「強靱とくしま」の実現

好循環

「横断的・重点的」 取組み

グリーン社会の実現とSDGsの取組み推進

デジタル社会の実現

地方創生の基盤をなす人材の育成

若者・女性・大阪圏への効果的・戦略的対策強化

「PDCAサイクル」による検証と改善！

情勢の推移を踏まえ、追加・拡充！

“進化する”総合戦略！

全世代の人々が輝く「持続可能な社会」の実現

【基本目標1】ひと ～「未来を担うひとの流れ」づくり～

「20歳～24歳」の若者への対策をはじめ、魅力的な就労・生活環境の発信など、女性目線でのアプローチ、さらには、東京圏に加え、本県からの進学・転出者数の多い「大阪圏等」を対象にした施策の強化を図り、さらなる「とくしま回帰」を推進

●主な施策【重要業績評価指標(KPI)】



- 「若者」「女性目線」「大阪圏」の視点での取組みを充実・強化し、「情報発信」→「移住相談」→「魅力実感」→「移住実現」の各ステージにおける移住支援施策の“切れ目のないサポート”を展開
 - 【移住者数(累計):('18)1,402人 → ('24)1,900人】
 - 【「とくしま若者回帰アンバサダー」委嘱者数(累計):('18)ー → ('24)120人】



「とくしま若者回帰アンバサダー」委嘱式

- 「徳島ファン」を掘り起こし、多様な人材のスキルと、市町村が有する課題とのマッチングを図るための多様な取組みを展開
 - 【県外交流拠点を活用した交流会参加者数(累計):('18)ー → ('24)250人】
 - 【県内企業・団体での「複業人材」活用マッチング数:('18)ー → ('24)55人】



「複業人材」活用の推進

- GIGAスクール構想で整備される児童生徒1人1台端末を活用し、1人1人に個別最適な学びと協働的な学びを推進
 - 【県内公立学校(特別支援学校含む)における活用事例数(累計):('18)ー → ('24)400件】



遠隔授業

「徳島の強み」と「未来技術」を最大限に活用し、「地域の稼ぐ力」を高めるとともに、やりがいを感じることができる「魅力的なしごと」と「雇用機会」を創出し、「住みたい・働きたい」と思える地域社会を実現

●主な施策【重要業績評価指標(KPI)】



- 地方大学・地域産業創生事業により、次世代LED等を活用した新製品を開発し、県内の光関連産業の活性化を図ることで雇用創出を推進

【重要業績評価指標(KPI)】**光関連産業の雇用創出数(※)(累計):('17) 11,200人 → ('24)14,600人**

※工業統計調査(経済産業省)による従業者数



ポストLEDフォトンクス研究所

- 県内木材需要の拡大を図るため、県産材の利用拡大や、幅広い世代の方々に木材利用の意義を知ってもらう「木育」を推進し、県民総ぐるみの木づかい運動を展開

【重要業績評価指標(KPI)】**木育拠点施設の開設:('21)開設**



木のおもちゃ美術館

- 実践的なデジタル人材の育成や地場産業の持続的な発展、徳島を拠点としたワーキングスタイルの確立に向け、徳島ならではのDXを生み出す土壌を醸成

【重要業績評価指標(KPI)】**ICTとくしま大賞及びデジタルとくしま大賞応募作品の利活用件数(累計):('18)65件→('24)200件**



デジタル人材育成

「結婚～出産～子育て」のあらゆるステージを応援する社会や、高齢者も含めた地域で子育てを支え合うコミュニティの構築をはじめ、多様化する価値観に応じたライフスタイル・ワークスタイルの確立など、「子育ての喜びを実感できる環境」「安心して子育てができる環境」を構築

●主な施策【重要業績評価指標(KPI)】



- 結婚支援拠点「マリッサとくしま」において出逢いの機会を提供、また、デジタル社会に対応した「オンライン婚活」を推進

【結婚支援拠点が管理する男女の出逢いの場等への参加者数(累計):
(’18)4,362人→(’24)13,000人】

【男女の出逢いの場等におけるカップル成立数(累計):(’18)755組 → (’24)2,600組】



マリッサとくしま

- 不妊治療をしている方への助成制度の周知・活用推進を図りつつ、若い世代に対して、妊娠・出産等の正しい知識の普及啓発を行う

【研修会の参加人数:(’18)145人 → (’24)260人】



徳島県こうのとりに応援事業

- 仕事と子育てを両立できる職場環境の整備に向け、子育て支援サービスやツール、周りの人に頼りながら楽しみを感じつつ行う育児(チーム育児)を普及推進

【チーム育児応援企業数(累計):(’18)ー → (’24)50事業所】



チーム育児イメージ

Society5.0の実装による地域課題の解決や新たな取組みの積極的展開を図るとともに、県民の健康維持、県土強靱化という「地方創生」基盤の確立により、安全・安心に暮らすことができる地域社会を創造



●主な施策【重要業績評価指標(KPI)】

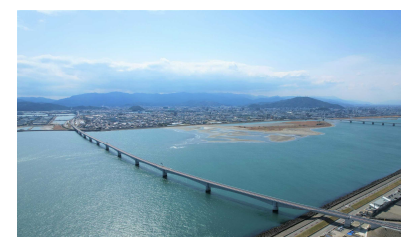
- 万代庁舎をはじめ県内各所においてローカル5G環境を整備し、5Gの実用化を促進
 【重要業績評価指標(KPI)】ローカル5G環境を活用した県域高速ネットワークの構築：(’21)構築】
- 自然エネルギーの導入を進める地域人材の育成を図るとともに、水素供給拠点の構築や新たな水素モビリティの導入を促進
 【重要業績評価指標(KPI)】地域人材を育成する講座の受講者数：(’18)ー → (’20)～(’24)年間20人
 【重要業績評価指標(KPI)】新たな水素供給拠点の構築、「燃料電池バス」の導入：(’18)ー → (’20)整備・導入】
- 近畿及び四国内の交流基盤となる四国横断自動車道(徳島JCT～阿南間)の整備を促進
 【重要業績評価指標(KPI)】四国横断自動車道(徳島JCT～徳島沖洲間)の整備：(’18)工事促進中 → (’21)供用】



5G遠隔医療



燃料電池バス出発式



吉野川サンライズ大橋

**「課題解決先進県・徳島」の誇りを胸に、
「一歩先の未来」を具現化し、
全国へ発信！**

新たな“価値観”

新たな“処方箋”



**地方創生のさらなる進化を加速化！
拳県一致で「地方創生」の実現へ！**